

サステナビリティビジネス NEWS VOL 5

サステナビリティは移り変わる目標であり、毎年多くの変化があります。Global TechnoとRead the Airは、持続可能なビジネスの分野の進化を理解するための堅固な基盤を提供するとともに、最新の動向を常に更新し続けることを目指しています。このニュースレターでは、Read the Air の Trista Bridges と Donald Eubank が、持続可能なビジネス戦略、ポリシー、ツールに関する最新のニュースをピックアップします。

COP29 は炭素取引の仕組みを固め、年間資金調達目標を設定

アゼルバイジャンで開催された COP29 は、パリ協定第 6 条に基づく国際炭素市場基準の最終化により、政策設計から運用への移行を意味する。民間炭素市場の関係者は、最終化により、提供される炭素クレジットの質が向上し、取引や利用方法がより明確になることで、自社製品の評価が改善されることを期待している。2025 年には国際的に取引される量が増えると予想される。また、COP29 では、パリ協定の目標を達成するための気候変動対策資金に関する「新たな全体的数値目標 (NCQG)」に関する交渉も進められました。先進国は 2035 年までに年間 3000 億ドルを拠出することを約束し、一方で、途上国と合わせた年間総目標額は少なくとも 1 兆 3000 億ドルです。今後は、この追加資金調達源を見つけることが課題となります。

参考情報：

United Nations Website
UN Climate Change Conference Baku - November 2024
<https://unfccc.int/cop29>

ISO、企業の ESG 開示の改善に向けた「IWA 48」を発行

2025 年に多くの新しいサステナビリティ報告要件が施行されるのに伴い、企業は様々な基準を満たすための準備を進めています。ISO は現在、新しい国際ガイダンス文書「IWA 48：環境・社会・ガバナンス (ESG) 原則実施のためのフレームワーク」でこれらの報告活動を支援しています。この ISO フレームワークは、世界中の 1,300 人以上の専門家の意見を基に作成されており、組織が「ESG の複雑さに対処し、開示要件を遵守し、活動を正確に測定、報告、伝達する」ことを支援するように設計されています。IWA 48 は、IWA 48 は ISO のウェブサイトから無料でダウンロードできます。

参考情報：

ISO Website
IWA48:2024
<https://www.iso.org/standard/89240.html?browse=ics>

EV 市場の成長とその影響

2024 年、世界の電気自動車 (EV) 市場は大きな成長を遂げました。特に中国製 EV は、生産台数と品質の両面で飛躍的な進歩を見せています。一方、日本の自動車メーカーは EV シフトへの対応に出遅れ、その象徴として、経営不振に陥った日産自動車と三菱自動車のホンダとの合併構想が浮上しています。特に ASEAN 市場では、中国メーカーが日本企業のシェアを奪う状況が続いています。米国市場では、主に政治的な課題に直面しています。次期トランプ政権による保護貿易政策への不安からサプライチェーンの価格設定が不透明になりますが、力強い政策支援と消費者の関心の高まりにより、EV 販売台数は引き続き伸長しています。それでもブルームバーグ・グリーンによると、複数の市場で EV のシェアが普及の転換点とされる 10% に到達しており、今後、自動車メーカーが本気で生き残りを図るためには、競争力のある EV モデルのラインナップが不可欠と論じています。

参考情報：

Clean Technica (Bloomberg)
Japanese Car Sales Plummet In Southeast Asia As Chinese Cars Gain Market Share
<https://cleantechnica.com/2024/12/01/japanese-car-sales-plummet-in-southeast-asia-as-chinese-cars-gain-market-share/>

トランプ政権の誕生とその影響 (Read the Air, Donald Eubank 氏による解説)

ドナルド・トランプ氏が第 47 代米国大統領に就任し、パリ協定からの離脱および DEI (多様性、公正性、包摂性) 政策の変更を表明しました。この動きは連邦政府の気候変動政策の転換を示唆していますが、24 の州および準州の知事 (米国人口の約 55%、経済の 60% を占める) や、5,000 以上の企業・地方自治体のリーダー (米国 GDP の 74% を占める) は、気候変動対策を維持する意向を示しています。ワールド・リソースズ・インスティテュート (WRI) のアニル・グプタ会長兼 CEO によると、「パリ協定は依然として極めて重要であり、米国の離脱にもかかわらず、多くの国は気候対策を強化するだろう」とのことです。

DEI の後退に伴い、一部の企業や投資家の間で **「グリーン・ハッシング (greenhushing)」、すなわち気候変動対策の公表を控える動きがみられる可能性があります。しかし、大手米国企業は EU の「企業持続可能性報告指令 (CSRD)」の対象となり、多国籍企業に対して DEI に関する指標を含む詳細な報告が義務付けられています。これらの企業は引き続き ESG (環境・社会・ガバナンス) のパフォーマンスを測定し、投資家の期待を満たすために改善を図ると考えられます。

国内においても、カリフォルニア州の開示規制が気候変動の透明性と説明責任に関する全国標準 ** となる見込みです。バイデン政権の「インフレ抑制法 (IRA)」では、1 兆 2,000 億ドル規模の排出削減プロジェクト向け財政支援が含まれており、多くの施策は継続すると予測されています。この法律に基づく 72,000 件以上のプロジェクトのうち、すでに 20,000 件が全額資金提供を受けているため、撤回は困難とみられます。また、多くのプロジェクトが共和党主導の州で展開されているため、新たな雇用を創出することを考慮すると、各州知事や議会も廃止には慎重になると考えられます。国際的には、EU、カリフォルニア州、国際機関による脱炭素目標が引き続き大きな影響を持っています。企業、特に日本企業は、世界の持続可能性基準に適応しつつ、トランプ政権下での貿易政策の変化や経済の不確実性に注視する必要があります。

References

- [1] U.S. Climate Alliance. <https://usclimatealliance.org/about/>
- [2] America Is All In Coalition. <https://www.americaisallin.com/whos-in>
- [3] World Resources Institute. STATEMENT: Paris Agreement Withdrawal Erodes America's Standing in the World. <https://www.wri.org/statement-paris-agreement-withdrawal-erodes-americas-standing-world>
- [4] China's influence grows at COP29 climate talks as US leadership fades. <https://theconversation.com/chinas-influence-grows-at-cop29-climate-talks-as-us-leadership-fades-243239>
- [5] ABC News. Trump set to dismantle DEI within federal government in first-day executive action. <https://abcnews.go.com/Politics/trump-set-dismantle-dei-federal-government-day-executive/story?id=117884488>
- [6] World Economic Forum. What is 'greenhushing' and is it really a cause for concern? <https://www.weforum.org/stories/2022/11/what-is-greenhushing-and-is-it-really-a-cause-for-concern/>
- [7] Pete Buttigieg gives final address as the 19th Secretary of Transportation. <https://www.youtube.com/watch?si=Uqx4PCU0-c0hNKLo&v=As1fGxPcI&feature=youtu.be>
- [8] Why Trump and GOP attacks on IRA can't score a clean sweep in red states. <https://www.cnbc.com/2025/01/12/trump-gop-attacks-on-ira-wont-score-clean-sweep-in-red-states.html>
- [9] 3 Major Climate Consequences Of Trump's Election. <https://www.forbes.com/sites/davidcarlin/2024/11/07/donald-trump-and-the-climate-consequences-of-the-2024-us-election/>
- [10] How much would Trump's plans for deportations, tariffs, and the Fed damage the US economy? <https://www.piie.com/blogs/realtime-economics/2024/how-much-would-trumps-plans-deportations-tariffs-and-fed-damage-us>

研修コースのご案内

- サステナビリティ経営研修 <https://gtc.co.jp/semn/special/sdgl.html>

日程	会場	ステータス
2025 年 7 月 1 日 (火)	東京	お申込みはこちら
2025 年 12 月 16 日 (火)	東京	お申込みはこちら

ABOUT READ THE AIR

Read the Air (リード・ザ・エア) は、ESG と持続可能性の実践に基づく戦略を活用して企業価値を創造することを可能にします。私たちは、情報、計画、人材、コミュニケーション、ツールに焦点を当てることで、これを実現しています。企業と連携し、ESG 原則、持続可能な実践、国連の SDGs (持続可能な開発目標) に基づく持続可能なビジネスモデルを創造するための強力なビジネス戦略を設計、実施、実行するお手伝いしています。Read the Air は、最も複雑で急速に進化するサステナビリティ、ESG、およびビジネス問題について、情報に基づいた最新のアドバイスを提供します。Routledge 社から絶賛発売中の書籍「Leading Sustainably-The Path to Sustainable Business and How the SDGs Changed Everything」(Routledge 社では 20% オフ Amazon でも購入可能) をご覧ください。